

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-152805

(43) 公開日 平成10年(1998) 6月9日

(51) Int.Cl.⁶

識別記号

F I

E 0 1 C 7/00

E 0 1 C 7/00

13/06

7/26

7/26

23/16

Z

23/16

G 0 9 F 19/22

J

G 0 9 F 19/22

審査請求 未請求 請求項の数 1 書面 (全 3 頁)

(21) 出願番号

特願平8-353136

(22) 出願日

平成8年(1996)11月25日

(71) 出願人 597003871

玉川 俊昭

札幌市中央区南13条西22丁目1番25-506号

(72) 発明者 玉川 俊昭

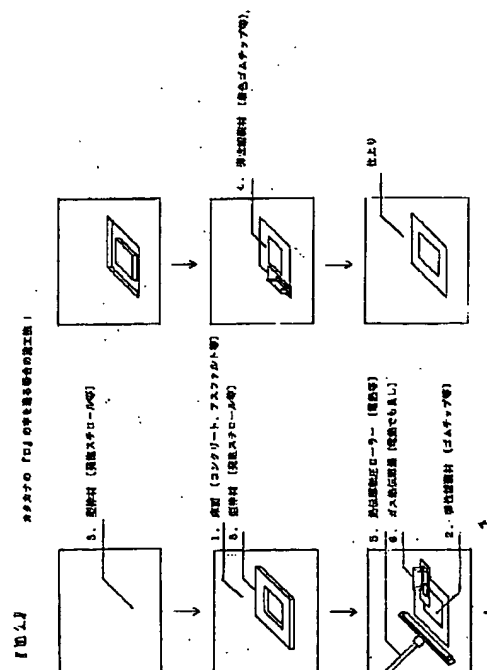
札幌市中央区南13条西22丁目1番25-506号

(54) 【発明の名称】 弾性舗装材の施工方法

(57) 【要約】

【課題】 従来は、弾性舗装材（ゴムチップ敷設工事）による舗装工事は、材料が各色多彩にあるにも関わらず、各色を取り混ぜた絵文字等との組合せはなく普及する事は無かった。それは、施工の難しさと施工費の積み重ねが施主の負担となりそれに絶える事が出来なかった為でもある。

【解決手段】 型枠を利用する事で、どの様な絵文字でも床面に造る事が出来る様になり、費用の面でも解決された。



BEST AVAILABLE COPY

【特許請求の範囲】

【請求項1】 弾性舗装材使用による保安と宣伝媒体を主体とした工事施工方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】舗装工事。（弾性舗装材を使用する工事）

【0002】

【従来の技術】この発明はゴム製品、ウレタン製品等を破碎し粒状、ヒジキ状にしたものをウレタン等の媒質を使用し舗装材として施工する工事方法です。粒状、ヒジキ状にも工場で着色が出来ますので、それを多彩に活用する方法は、取られておりませんでした。又、弾性舗装材による施工は一般化され、各材料の混合体で施工されておりました。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】本発明は、一般化された工法に対して、その欠点の解消並びに保安と新しい需要を呼び起こす施工方法であります。従来の欠点としては、アスファルト舗装の場合、仕上りが一体化されており、雨水、降水、降雪に対してスリップの危険がありました。又、弾性舗装材による舗装面に宣伝媒体等を採用するという事もありませんでした。仮りに舗装面に直接絵、マーク、文字等を書き込んでも摩耗によって消えていくのが現実でした。然し、この弾性舗装材のスリップしにくい特性を生かし、公共の場、人の集まる処に舗装する事で転倒事故を緩和する事ができます。又施工するに当たり宣伝をいれる事により、スポンサー等が付くことになります。施主はその分、工事費を削減する事が出来ます。問題は、摩耗による宣伝媒体等が消えていかないかの工夫が必要となり、本発明は、この問題を解消するというものです。

【0004】

【課題を解決するための手段】弾性舗装材が摩耗したり、削れた場合でも絵やマーク、文字等が消えない施工方法です。まず、弾性舗装材敷設の準備を行います。予め墨だした部分に従い絵、マーク、文字等の型枠を固定し敷設工事に入ります。この型枠は発砲スチロール等が扱いやすいのですが、代用でも構いません。これに必要な絵文字等が繰り抜ける様にしておきます。先に敷設した舗装材が固化したのち、型枠の絵文字を残し縁を取り

除きます。次に絵文字の周囲を埋めつくします。又これが固化したのち、絵文字の型枠を外します。残る穴を埋めつくしそれが固化した時点で完了です。使用量、製品名、使用色、施工厚等は、気温、湿度、施主のニーズに合わせるため一定しておりません。宣伝のスポンサーが変更になった場合は、その部分を切り取り同じ工法を繰り返す訳です。又施工後、小型の手加え等が発生した場合は、予めいれる絵文字を弾性舗装材で指定の厚さで造り、現場で切り取り、はめこむ事も出来ます。土間には水勾配が付いております。従って透水性のある弾性舗装が採用されますが、盲導パネル等を設置する場合、下地がコンクリート、アスファルト等の仕上げになっていて、水の抜け道が閉ざされる場合があります。この様な時は、予想される水量に従ってみず道を造る必要があります。これは現場サイドで対処する事とします。

【0005】

【発明の実施の形態】駅のホーム等人的の集まる場所に於いて実施された場合、その誘導矢印、駅名、近隣商店街等の宣伝等が簡単に行われる事となります。

【0006】

【実施例】スティタス新函館ゴルフコース他において実施した処、スパイクで踏まれるにも関わらず、損傷が見られません。（町花を採用しました。）平成8年11月25日より北海道旅客鉄道（株）白石駅1番ホームに於いて試験施工が為されることになりました。

【0007】

【発明の効果】降雨、降雪時のスリップ防止と弾性舗装材と絵文字の一体化が可能になった為、つまづきがなくなり、歩行者の安全対策に一役買うものと考えています。又JRでは指定方向矢印、盲導パネル、JRロゴ、JR関連企業の宣伝マーク、文字等の製作が可能となりました。従来、駅等の宣伝掲示は、壁面、吊り下げ等に頼り床面を見逃していたとの話もあり、今後に期待が持てるものと考えています。

【図面の簡単な説明】

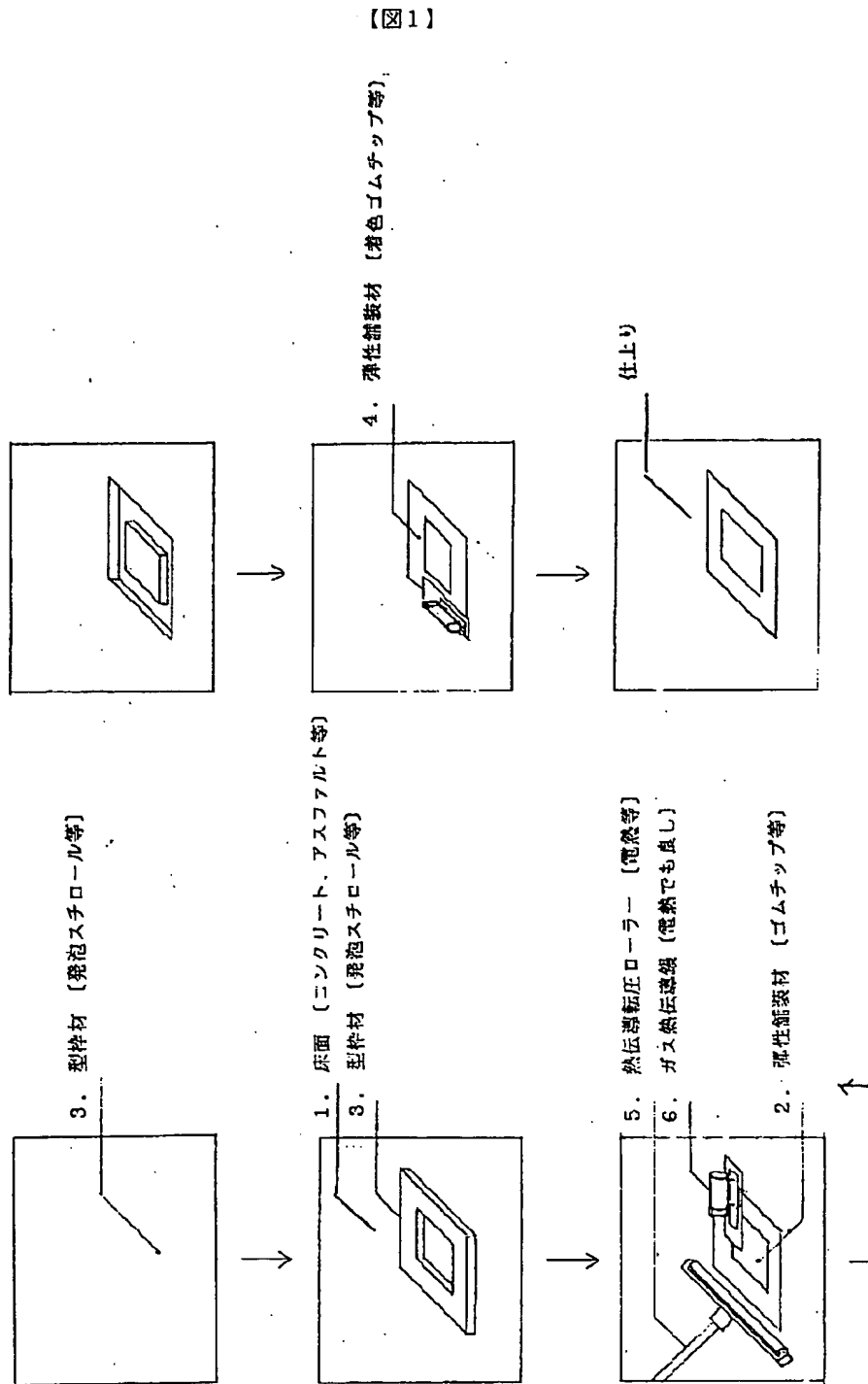
【図1】本発明の斜視図。施工法は色々ありますので省略致し、本件に係る部分とします。

【符号の説明】

1は床面、2は弾性舗装材3は型枠材4は各種色の宣伝媒体用の弾性舗装材5は熱伝導転圧ローラー6はガス熱伝導錘

【図1】

カタカナの「ロ」の字を造る場合の施工法



BEST AVAILABLE COPY

METHOD OF CONSTRUCTING ELASTIC PAVEMENT MATERIAL

Publication number: JP10152805

Publication date: 1998-06-09

Inventor: TAMAGAWA TOSHIKI

Applicant: TAMAGAWA TOSHIKI

Classification:

- International: E01C7/00; E01C7/26; E01C13/06; E01C23/16; E01C23/20; E01C23/24; G09F19/22; E01C7/00; E01C13/00; E01C23/00; G09F19/22; (IPC1-7): E01C7/00; E01C7/26; E01C13/06; E01C23/16; G09F19/22

- european:

Application number: JP19960353136 19961125

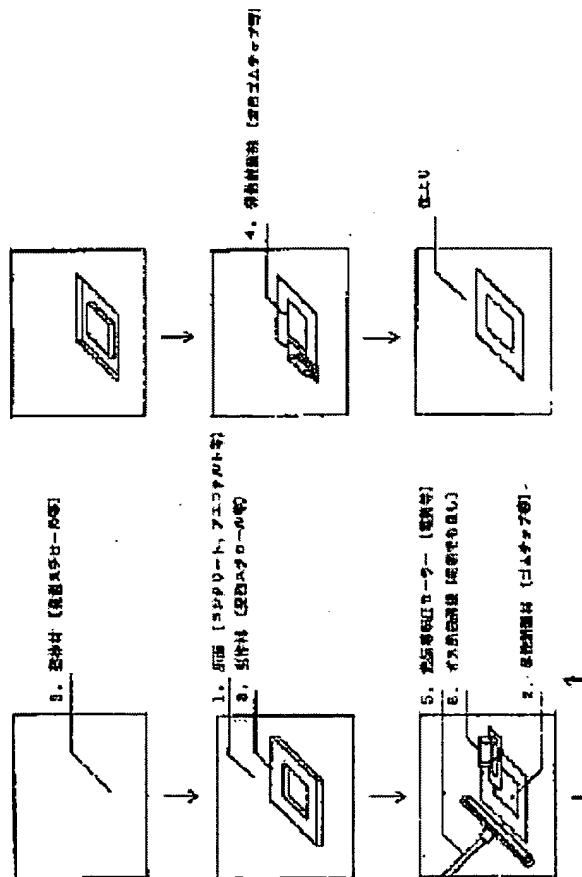
Priority number(s): JP19960353136 19961125

Report a data error here

Abstract of JP10152805

PROBLEM TO BE SOLVED: To prevent a display from being extinguished by removing a form after the form buried in a pavement floor surface is molded into a desired form, and filling an elastic pavement material formed of colored rubber chip into a formed hole to form a display part on the road surface. **SOLUTION:**

After a form 3 consisting of foamed styrol is fixed to a preliminarily marked position, concrete or asphalt is laid therein to form a floor surface 1. After the floor surface 1 is solidified, a prescribed edge part of the form 3 is removed while leaving, for example, a frame-shaped pictograph part. Then, an elastic pavement material 2 such as rubber chip is filled in a prescribed part of the form 3 where the pictograph part is bored, and solidified. The form 3 is then removed, and an elastic pavement material 4 formed of colored rubber chip is filled in the form formed there and solidified. Thus, an advertisement mark or character can be formed on the floor surface, wearing-off of the mark or character can be prevented even when the elastic pavement material is worn or shaven, and a slip accident in rain or snow can be prevented.



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

BEST AVAILABLE COPY